明治四十三年九月十五日發行
每月一回十五日發行
明治四十二年三月十二日第三種郵便物認可

婦人新報

第百五十九號
（大會號續）

日本基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百五十九號

目次

○寄告
○社告
○社説
○噫洪水
○婦風會各方面の活動
○水害慰問概況並に報告
○愛隣社報告
○内外通信
大阪、佐賀、前橋、堺、弘前、宇都宮、靜岡、社告

社告

◉婦人新報定價（郵税共）

一部（前金）　金六錢
六部（前金）　金三十五錢
十二部（前金）　金七十錢
（郵券代用一割増）

◉廣告料

一行（五號活字）　金十錢

明治四十三年九月十四日印刷
明治四十三年九月十五日發行

發行兼印刷人　本多テイ
編輯人　横倉ヒデ

發行所　婦人新報社
東京府豊多摩郡澁谷村元青山南町七丁目一番地

編輯及事務所　本郷區駒込蓬莱町六番地

No. 159. September 1910

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

Oh, dreadful flood!

Reports of the Depts.

Report of the Ai Rin Sha

Charity work for the people who troubled with the flood having done by the Members in Tokyo.

W. C. T. U. News.

Osaka, Maibashi, Saga, Hirosaki, Sakai, Utsunomiya.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 6, Horaicho, Hongo, Tokyo.

70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

中央は伯爵閣下
左側は伯爵令夫人
次は矢島會頭

第十八回婦人矯風會大會紀念撮影

大隈伯爵邸に於て

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百五十九號

（明治四十三年九月十五日發行）
（明治四十二年三月十二日第三種郵便物認可）

○社告

本號は大會號續として發行いたし候間次號に於て左の諸名士の矯風、育兒庖廚の改善等につきての卓見を掲載すべし

大隈伯爵、岩谷小波君、櫻井ちか子婦

○廣告

婦人矯風會本部にては別項記載の如く水害罹災民救濟事業を開始し既に第一回は八月を以て締切り更に第二回を九月十二日を以て開催する事に決したり、時は追々と寒氣に向ひ、世の同情心は日を經るに從ひ薄らぎ行く此際我會にては擴く同情者の金品の寄贈を願ひ、各方面にある罹災民救助の取次をいたし度候間同志の諸彦には至急左記に御送附被下度此段謹て希レ奉願候也

東京市麴町區上二ノ卅三
女子學院内日本キリスト婦人矯風會
會頭　矢島楫

社説

○噫洪水

さゝやかな雨の音にも、人の心のさわがしく覺ゆるのは當然の事である、一府十四縣にのみ限られて居ると思はれた風雨の力は、止めどもなく、日本全國の大部分をあらしにあらして、尙ほ止まるを知らずと云ふやうな天候である、逆巻く波にゆられ〳〵て、辛うじて生命を全ふした幸多き人の數は算する遑もない位であ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るが、救助の舟の至らぬ中、あえなき最後をとげたる人も全國を通じて千餘に上る事と云ふ事である、人間の力智識は勿論、何物を以ても自然の偉大なる力に抗する事は出來ない、攝理のある所には人間は如何にしても任かなければならぬ、怖ろしき水勢と財寶を流し、はた生命をも奪はれし其慘狀には、誰か涙を流さゞる者あらんやてある、二百年以來稀有の大洪水の慘澹たる光景は、とても形容する事は出來ない位てある、新聞ても話ても其眞象を現はす事は出來ない、實際に目擊したものは唯だ人間の弱き脆さをかこつ外はない、然れど私共は此慘狀を傍觀徒視して居る理にはゆかぬ、飢渴に瀕し寒に慄へる人々の爲めに出來る丈の力をいたす義務があるのてある、賢き人は悲の家に行く、神の愛に浴し幸に此慘狀を免かれた私共は、率先して救助の道を講ぜねはならぬ、幸に吾會の諸師總てを救濟事業の爲めに捧げられて、眠れる多くの婦人を醒覺された事は實に感謝いたすべき事てある、(別項)茲に私共は唯だ一時的の洪水の爲めに苦るしむ人々以外、一層恐るべき永遠の大洪水中に浮沈して居る同胞の多くあるを記憶せねばならぬ、此の洪水中に日々溺れ行く人は幾萬てあるか知れない、實際界の事はよく人の心を刺激し得るか、さて此の精神界に於ける事には比較的刺激を受くる事が鈍い、即ち種々限りなき罪惡の洪水中に沈溺し或は哀れむべき運命を我から造らんとする人々を救助せんと思ひ立つ人は、實に尠少い事てある、時に之を救濟せんとする人々が此渦中に陷る事もあるが兎も角も、社會人類の幸福を計らんと願ふ人は、精神上の大渦中に浮沈する人々の爲めに今年の大洪水に顯はされた、より以上の同情と、熱心と、勇氣とを以て救濟の道を講ずる事にいそしみたいと思ふ、我が矯風會は、及ばずながら本年の水害の爲めに奔走した、より以上の精力を以て、罪惡の渦中に苦るしむ人々を永遠に救ひ助けたいと決心いたして居る、私共は尙一層酸鼻の極に達したる今年の大水害にかんがみ、天の攝理の何邊にあるかを悟つて、眞理の爲めにお互に活動いたしたいと思ふ、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○矯風會各方面の活動

○四十二年度教育課報告

渡邊常子

本課の設けある場所は下關、名古屋、神戸、大阪、京都、金澤、東京橫濱の八箇所にしてその受けし報告左の如し

東京府下瀧野川女子聖學院矯風會

教育課長　藤村とよ子

明治四十二年六月十三日會の設立と共に教育課を設く去る四月休暇を利用し中國地方を巡回して講演會を開き本課事業のため盡力せり

○京都教育課報告

原田さき子

當地矯風會教育課の働きに付きては何も未だ御報告申上候事出來居らず誠に申譯無之候

○教育課報告

少年部長　守屋東

明治四十二年八月より本大會までの間に諸學校に於て禁酒禁煙につきて講話せし事前後廿五回、今左に國別及校名を擧ぐれば

○東京私立女學校一箇處　私立小學校四箇處
○盛岡公立小學校四箇處　私立幼稚園一箇處
○仙臺私立裁縫女學校
○水澤公立小學校　郡立農學校
○吳私立淡水小學校
○神戸公立小學校二箇處　私立女學校一箇處
○京都私立女學校
○石岡公立小學校　郡立農學校
○水戸師範學校女子部、附屬小學校二箇處公立小學校
○彦根公立幼稚園

其人員數大凡一萬人餘なり、

一度蒔かれし種の願はくは良地に落しものとならんことを願ふものなり私立の小學校幼稚園等に於ては誓約して少年禁酒會になりしものも多かりき最もよろしき事は或校の校長なる人自身飲酒に擒にされおらる〻人自の惡習慣にとらはれたることを自白して生徒に誡められしもの、また兒童等よりも教師方の間に禁酒禁煙の必要なる事を切實に認められし事にて此課の働の大なることは誠に驚くばかりなりき、學校と連絡つくる事の最も此主義を鼓吹する爲に適切なる方法と信じ各支部に此課の設立されんことを願ふものなり。

○大阪婦人矯風會教育課の報告

納合はつ子

明治四十二年十月下旬萬國婦人矯風會特派員スツラウ

ト嬢御來阪の御通知を受けし故當地教育課は各中學程度の學校に同孃を紹介し其講話を生徒にきかせられん事を勸めたり又同時に全市小學教員にも矯風の趣意を傳へんとし其會合を催したり

十一月八日スッラウト嬢御來阪遊ばされ十日間熱心に御講話遊ばされたり其校名左の如し

市立工業學校　府立女子師範學校
府立市岡中學校　同　清水谷高等女學校
同　天王寺中學校　同　夕陽丘高等女學校
同　今宮中學校　梅花女學校
職工學校　ウヰルミナ女學校
プール女學校

全市小學校敎員を四分し即ち一區づゝ御集會を願ひたり

北區は中之島尋常小學校　南區は難波尋常小學校
東區は浪華尋常小學校　西區は西區役所の樓上にて

小學教員のためには教育上の矯風といふ趣意にて最も有益なる御講話ありて多大の感動を與へられたり此集會には各校の學務委員なども列席せられたり殊に東區の集會の如きは御講話の後北大江尋常小學校々長は是非同校の父兄會にて一場の御演說を願ひ度との申出ありしを以て父兄(數百人)のため最も適切なる御講話ありたり

四十三年二月故ウヰラード嬢の紀念日には當地中學程度の各男女學校及び高等學校々長へ紀念の爲日々の方に書面を添へ送る

後深厚なる感謝狀を多くの校長より受けたり

○神戸婦人矯風會教育課報告

明治四十二年七月十四日より十七日迄第十七回大會を神戸市に於て開催せられ其最終日午後二時よりは教育家慰勞會を神戸女學院講堂にて開き矢島會頭、ストラウト嬢、名出牧師に教育道德に關する講話を乞ひ更に同庭園に於て園遊會を催し茶菓を呈し小冊子を配布し日頃市教育事業のため盡瘁せらるゝ諸氏に對して謝意を表したり當日の來會者約三百名にていとも愉快なる會合なりき

同十一月二十日午後七時よりストラウト嬢を聘して神戸教會に禁酒演說會を開く此日生憎他數箇所に集會ありしをもて來會者僅かに七十有餘名なりしも一同多大

の感に打たる

偶々同日午後六時より湊川尋常高等小學校に於て神戸市教育會を催さるゝよしなりければ豫じめ同幹事に照會して午後八時半よりストラウト孃の講話を乞ふことゝなり同孃出席講話せらる出席者二百有餘名にして一同の脳裡に強き印象を殘さる

四十三年一月六日矢島會頭來神を好機とし小學教員六十有餘名を神戸日曜學校々堂に招待して新年懇談會を開き渡瀨牧師矢島會頭等の適切なる感話ありし後來賓一同へ茶菓を饗し又會員各自の寄贈による福袋約二百個(代價凡そ百圓)を分ちたり

同五月十日本部少年課長守屋東女史來援三日間左の場所にて有益なる講話あり

十　日　多聞尋常高等小學校
十一日　湊山尋常高等小學校
十二日　日本基督教會　（婦人會のため）
　　　　神戸孤兒院　（少年禁酒軍のため）

因に湊山小學校にては爾來主席教員及び同班教員の貳名斷然禁酒禁煙せられしと

同五月廿八日午前九時より神戸學院に於て地久節祝會を開き引繼き第十八回矯風會大會準備を兼ね教育課事業及び救濟課事業のため午前十一時より日沒まで「バザー」を開き各種の賣店を設け尙餘興として音樂會を催す此日收得したる純益金約九拾貳圓にして內金拾五圓を神戸女學院基本金中へ金五圓を新川貧民救濟事業に金廿六圓參拾錢を神戸孤兒院に各寄附す

同六月廿七日午後四時小磯みと子、松山常子及小妹の三名にて神戸孤兒院に至り同院內にありて中宮小學へ通學する院兒卅九名のため前記寄附金廿六圓參拾錢を以て新調したる袴卅九着を贈與し尙可憐なる兒童に對し三名更る〳〵天父の慈愛を語り朝夕神の御惠みを感謝せんことを勸め又祈禱して歸る後同院より左の謝狀を受領す

謝狀

一袴　卅九着

右之御品深厚なる御同情により御寄附被成下難有奉鳴謝候本院は永く芳名を錄して御厚志に酬ひん事を誓て茲に感謝の意を表し候　敬具

明治四十三年六月二十八日
財團法人　神戸孤兒院

神戸婦人矯風會御中　　理事　矢野　殿

尙本課事業として安藤氏の譯述に係はる禁酒禁煙生理讀本を市内に於ける左の諸學校々長を訪問の上一部づゝ寄贈す

中宮尋常高等小學校　　湊山尋常高等小學校
荒田尋常高等小學校　　北野尋常高等小學校
多聞尋常高等小學校　　私立家政女學校
神戸孤兒院　　神戸女子神學校
神戸頌榮幼稚園

尙同書を左の諸縣へも發送したり

丹波龜岡日曜學校　　園部日曜學校
須知尋常高等小學校　　土佐日曜學校
高知女學會（救濟的事業）　　熊本大江女學校
宮崎日曜學校　　宮崎私立幼稚園
岡山孤兒院　　寄島尋常高等小學校
姬路女學校　　伊豫青島尋常小學校

因に配與せし圖書の部數は總計廿一部にして就中丹波園部町伊藤牧師よりは左の如き喜ぶべき書を受領したり

前略今回日曜學校へ御同情を表せられ教科參考書として甚に有益なる書類御贈與に接し厚く御禮申上候御高志之程を體し無邪氣なる生徒の腦底に神を敬しイエスを愛すると共に禁酒禁煙の主義を鼓吹致し度きものに有之候未だ具體的には纏り不申候得共當地一二婦人によりて會堂にて子守を敎導せんとの相談中に候へば若し組織せられなば該讀本は大なる利益を與ふる事と喜び居申候下略

明年度の本課事業の一として目下禁酒同盟會にて出版中の大澤博士の酒害を廣く各種の學校に配與せんことを希望し居る次第にて各支部の姉妹も亦之れが實行の効果を奏せんがため御協力あらんことを切望す

本課事業に關し支出せし金額

一金壹百拾圓四拾壹錢

內譯

金六拾二圓三拾八錢五厘	教育者慰勞のため
金拾五圓	神戸女學院基本金中へ
金二拾六圓三十錢	神戸孤兒院内中宮小學生徒袴地並に仕立料
金五圓五拾錢	禁酒同盟會へ幼年生理讀本並に酒害論注文
金壹圓七拾二錢五厘	郵便代

○四十二年度に於ける課長個人の働

發信數　五〇
受信數　五〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

訪問數　七三
學校　二五、工場　七、貧民窟　一、家庭　四〇、
演說數　一五
旭川一、函館一、甲府二、宮崎一、鉄肥一、高鍋一、丹波須知一、佐世保一、高知二、神戸三、丹波園部一、
集會出席數　三二
配與せし書類　幼年生理讀本　二〇
小冊子　三〇〇

母の會課報告

課長　栗屋粂子

光陰は矢よりも早く束の間に第十八回の大會は開始せられたり顧れば昨年神戸市に開催されたる大會には是非とも出席成さんと旅の用意までもせしに止むなき事故出來爲めに殘念ながら出席叶わざりしも幸ひ本年は當地に開催され不成績ながら出席して御報告致す事の出來しは偏に天父の御祐助と感謝の外なし

本年よりは大に成すあらんと心に盟ひしも夢なりし多事多忙は口辯なれ共殊に本年度は一層多事多端にて殆んど忙殺されん許なりしが幸にも後半期に於て少しの時を得て母の會集には比較的多く出席なし得たる事は是亦天祐と感謝し居る次第なり殊にミス、スッラウトは母の課の働きに付ては非常に御同情を寄せられ種々御心添へ下され麻布母の會の如きは每會小妹をして司會を成さしめ實地研究の機會を與へられ亦本部在留外國婦人矯風會母の會課々長チャペル夫人も種々御心添へ下され御助け下されし事を茲に多謝し併て今後も益々御補助あらん事を希望に堪へず

各支部母の會課長諸姉に今日までの倦怠を謝し今後は互に氣脈を通じ相助け活動の方針を定め此課の發展を計らん事を切望す

倘ほ將來の希望は當地に於て時々講演會を開き知名の方々に講演を乞ひ印刷して各地の母の會課へ分ち通信

講演の計畫を成したきとなり

前述の次第にて本部母の會課の働きとしては只僅かに書信の往復會員訪問位に止まり其他は個人として靑山母の會並に麻布母の會に毎月出席して互に兒童教育に付研究し或は經驗談等を成すに過ぎず眞に慚愧に堪へざる次第なり

一受信　十四
一發信　二十
一訪問　十一
一收入　本部會計より五圓請取　四十二年度分
一支出　八十六錢
殘金四圓十四錢也

○麴町支部母の會課報告

課長　粟屋榮子

昨年十一月此課の設けあり自分課長として申譯なき次第ながら本部母の課の報告にもある如く非常に多忙を極め居り未だ報告致すなどの集りを開きし事なし只本課の設立後課の働きに付て二三の會員と相談せし位なり

○横濱支部母の課

課長　二宮わか

毎月第一木曜日午後開會訪問は毎月二回程（會員の住宅を）
收入金五十三圓九十八錢五厘
支出金三十六圓五十七錢
尙會は大に盛になり現會員五十三名毎會京濱にある諸名士に來演を乞ひ各會出席平均約百名

○鎌倉支部母の課

課長　高木利與子

集會は毎月第二金曜日一回
去る六月初旬課長となりしを以て其收支の如きも日尙淺き爲め精算立ち難きに付き次年に於て報告せんとす
母の會夏季の一事業として來る八月一日より同卅一日迄小學尋常一年生及び幼稚園の兒童を預ることとし之に適當なる宗敎上の歌をなし且つ最も快活に遊戯をなさしめ以て兒童等をして自ら宗敎上の智識を啓發せしめんと欲し目下其計畫中なり

○大阪支部母の課

課長　杉田磯

集會度數二回　三月第一土曜日　七月第一土曜日
本年三月の例會は當時市内擴張傳道の爲め休會致したり來月即ち七月二日には風俗課と合同にて集會を川口プール女學校に於て當地否日本にて有名なる廣岡淺子女史に講演を願ふことに致し目下集會の爲め盡力致し居れり

○吳支部母の課

課長　渡邊つる子

集會は四回但し四十二年十二月より訪問配付せし册子はなし
收入金七圓八十一錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

支出金五圓五十九錢
本課は日倘ほ淺き爲め報告なすなどの事を得ざれ共今後益々盛になる見込なり

〇堺支部母の課

課長　三宅ゆき子

集會訪問配付せし册子の數等なし
收入金なし　支出金三圓

〇北海道旭川支部母の課

課長　アナ、エバンス

集合は毎月第二水曜日課長の宅に開く配付せし册子は子供教育册子なり
旭川は幸にして聯合の精神厚く矯風會は聯合して集會致し居れり亦母の課も聯合して樂しく開き居れり
主意は多の未信者の母を神に導くために設けたるものなり

〇少年部長より本部母の課へ報告を寄せらる

少年部長　守屋東

四十三年十一月十三日盛岡へ旅行せし折同地の母の會にて禁酒禁煙主義を兒童に鼓吹すべき事に付て語る出席者卅餘名
四十三年三月八日芝區愛宕町敬蒙小學校の母の會に出席して子孫に及ぼす酒害と題して語る非常に熱心に聽かれたり出席者五十餘名
同三月十六日小石川區高田老松町の綠幼稚園の母の會に招かれ圖解を以て酒害煙毒の恐る可きを語る出席者二十餘名
同五月九日關西旅行の時與市婦人矯風會の母の課の例會に出席して家庭に及ぼす酒害と題して語る出席者五十餘名誓約して矯風會員となれれし

者四五者ありき

〇懸賞文學課報告

課長　鈴木元子

慈愛深き天父の豊かなる恵の下に本課の追々盛大に趣けるは感謝に堪へざる所なり爾來懸賞文學會は主に矯風會の設けある所に多く催されしが近頃は矯風主義の擴張せられて本會の設けなき所にも續々と懸賞文學會の催さるゝとは實に喜こばしき事の極みなり

本課の設けある所

神戸市山本通り　神戸女學院青年部
麻布鳥居阪　東洋英和女學校
神戸市中山手通　神戸支部
芝三田切通町　フレンド女學校
在日本外國婦人矯風會懸賞文學會の五ヶ所

本課の設けなくして懸賞演說會を開催せし場所

神戸　少年禁酒軍
大阪　ウイルミナ女學校
水戸　青年會　青年婦人會、日曜學校
山口　縣中河原少年禁酒軍

四十二年七月より四十三年七月迄に賞牌を送りし數廿八個（銀牌三個

銅牌廿五個）

懸賞演説會を開催せし數廿八回

銅牌演說會　廿五回

銀牌演説會　三回

神戸少年禁酒軍　一回

神戸女學院青年部　一回

課長　河合けん子

フレンド女學校青年部　二回

課長　アリスルエス

茨城縣水戸友會傳道所にてはエリザベスピンフチノルド氏の熱心なる勵及二三名の忠實なる姉妹の助力にて懸賞演說會を催せり銅牌十九回銀牌三回合計廿二回

大阪ウイルミナ女學校一回

山口縣少年禁酒軍一回

これはガンドレツト青年部長の御盡力によりて催されしなり

神戸支部懸賞文學課報告

課長　永井　せらは子

懸賞文學會は開催せざりしも懸賞を配布して課の働とせり　支出金一圓七十一錢

麻布英和女學校懸賞文學課報告

課長　岩崎いそ子

四十二年度には懸賞文學會を催さゞりき

外國婦人矯風會懸賞文學課報告

課長　アリス、シ、ルエス

收入及出金廿五圓十七錢五厘

本課の働として主に日本婦人矯風風懸賞文學課を助けて賞牌は凡て演說集印刷の費用等は皆本課より支出せり今や懸賞文學課の益々進歩發展すると共に賞牌の數も增すは當然の事なれば七月大會後よりはメタル費用に就き從來の如く充つる事難く依つて日本婦人矯風會懸賞文學課にても熟考あらん事を乞ふ

本課の規則及演說集を送附せし場所

名古屋錦城女學校	演說集
大阪ウイルミナ女學校	演說集及規則、審査表
土浦友會傳道所	同　同　同
宇都の宮女學校	同　同　同
宮崎ミセス、クラフ	同　同　同
小石川青年部	英語演說集
鳥居坂東洋英和女學校	英語演說集
フレンド女學校	同　及日本語

合計演說集五册規則及審査表廿八部

收入金一圓卅錢

支出金一圓十八錢

殘高金十二錢

本課用禁酒演說集第二號發行いたし右は少年少女用に適當なる演說のみなれば少年禁酒軍の設けある支部にては宜敷御購讀あらん事を希望す懸賞演說會に一層人心を引いて聽衆者を多く集めんには廣告のよろしきに叶ふ者を用す右に就きてはフレンド女學校水戸にては懸賞演說會每に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

禁酒又は婦風に關する種々思想を讓したる繪畫を作りそれに彩色を凝し又執行順序を書き入れて人々の目につく處に掲示し以て廣告とせり願はくは本課に興味を有せらるゝ諸姉方よ功妙なる手腕を揮ひ深遠なる考案を下し以て畫かれん事を乞ふ

懸賞演說集及規則審査表等御入用の方は私迄御申越被下度候

本年度に於ては少年禁酒軍の設けある所青年部其他の支部にても成る可く多く懸賞演說會を開催し年若き人々の口を通して社界の人々に婦風禁酒の主義を說かれん事を切望す

○衛生課報告

大關ちか子

私は病後何もいたして居ませんから立派な報告は出來ませんが肉體の病疾のため靈性上多大の惠みを蒙りましたから其あらましを報告し以て任を全ふせんと存ます約一箇年の休養中實地看護法といふ本を著述し病ひのために消費せし時日を取戻しました初版千部、再版千部此出版費用並に廣告料が八百三十七圓內譯初版五百十七圓再版三百廿圓進呈分初版三百部再版百餘部此本は實買して居ますから多分の損失はいたして居ませんが進呈分が多きため或は不足を生じて居やも知れませんが此金に就ては矢島先生植村教師等の御補助を仰て居ます

此感謝狀の重なる分

東京帝國大學總長濱尾新
京都帝國大學總長岡田良平
帝國大學附屬圖書館長
京都大學附屬圖書館長
大阪府立圖書館長
日本女子大學附屬圖書館
他個人的の物數本

新聞の評

每日　萬朝　中央　やまと　二六

寄稿せし雜誌

[illegible]雜誌　五回
女子の友　二回
女學世界　二回
看護婦　每月一回(家庭看護法)

講演

築地母の會(三十番館)
本鄕明治母の會、中央教會

實行

市內痘瘡大に流行し神田區役所の命に由り數十名の看

護婦を醫師の助手として特志を以て派遣させ二萬四千七十餘名の種痘を施し神田區役所より感謝狀及金若干を受けました

明治四十二年三月より日本基督敎祝謝傳道會の評議員に擧られ過分の義務を負ましたが信仰薄弱加るに多忙の爲め充分任務をはたし得ず私所屬の會内に家庭求道會を開き敎師を聘し傳道の結果敎保となりて受洗せし者三十五名何れも熱心なる信仰を以て不幸なる病人のために働きて居ます

昨年十一月都合により東京看護婦會を辭し猿樂町十九番地に基督敎主義を以て看護婦會を設立致しました特に本年は身體全く健康に復せしのみならず昨年以來偉大なる惠みを蒙りました故感恩の情に不堪餘命を神に捧げんと決し去る三月より飯田町三丁目の神學校に通學し卒業の日を待ちて聖旨を全ふせん物と希望致て居ます、衛生課の報告として不適當かも知れませんが働き得ざりし過古現在未來の希望を述べて報告に代へました

我天職たる看護の事業衛生課として運營なる否そはよく解し得ざるも看護婦の事業は實に大切の事てあります不幸の病人を看護する看病人の働きは實に必要てありますが未信者のみ多く實に嘆息するの外ありません各地方にも看護婦會は設立されあると信じます支部代表者姉妹に願ふは其會が傳道して信者の看護婦を養成せられん事を願ふ

〇工女課報告

白井諄女子

私事昨年八月より本年四五月の交迄病氣勝にて湯藥に親みました、夫れ故に本課の爲に何等の働を爲すこと出來ず、從て各地の工女課及び工女の爲めにせられたる運動に對し、一つも御力添へをすることの出來なかつたことを自ら怨み且つ深く怠慢の罪をお詫び申上ます、上述の如くて御座いましたから報告も極めて不完全てはありますが、工女の爲に御盡力下された守屋姉と山梨支部同課の御報告と私共が直接に計營して居る東京愛憐社の事情を左に御報告申上ます

△一、東京愛憐社　は今回交涉の結果日本婦人矯風會て經營する事業に致しました、此件に關しては私事出席の上直接に詳しく御報告申上べき筈て御座ひますが、前條の事情により殘念ながら出來ませぬ、されはこは委員方の中より交涉顚末及び今後經營の方針を御報告願ふとに致し又た事業の詳細なるとは近日「婦人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新報」紙上て申上ます現在開始して居る事業は夜學部、救濟部、紹介部、出版部、日曜學校の五部にして外に團欒として夜學部卒業生組織の「校友會」日曜學校年長者組織の「女子共勵會」生徒一同の組織せる「かたばみ會」などあります、そして折々娛樂會を開いて一同樂み遊ぶ日もあります、猶ほ統計的の報告其他は上述の如く婦人新報紙上て申上ます、

△二、山梨婦人矯風會（渡邊しけ子姉報告）　工女課の設けなけれど地方傳道の折に所々にある製絲工場に至り工女等に基督敎的矯風の御話をして居ます、一年間の集會を開きしと九十九回話をきゝし者七千七百廿九人、話をするとの出來る工場十二箇所て集會毎にトラクトを與へました

△三、守屋東氏の働き　少年部長守屋姉は工女の爲に極めて有益なるお働きをして下さいました左は其御報告てあります、

〇明治四十二年十二月八日工場道傳に熱心なるヘウヰ女史の依賴により小妹は同女史と共に府下龜井戸村のキャラコ工場に行く長き時間執務して自由の時間となれる女工六百餘名のものに矯風につきて語る非常なる勞働の後なる彼等且あまり話など聞きなれぬ人々なれば如何かと案じつゝ語りしに一時間餘の間實に靜かに熱心に聽同したるには驚きと共に感謝の甚りに堪へざりき最も間に歌などうたひまた語りたるにもせよ兎に角終りまで一名の中座するものなかりき終りにリフレットを配布したり、

〇明治四十三年二月十二日同じくヘウヰ女史の依賴により本所のモスリン會社の女工に矯風につきて語る此工場の女工等も永き時間勞きし後の休み時間に於て話を聞く事になり居りしかども少しもうむことなく終りまで熱心に聞きたり其數四百餘名なりき

〇同じき日サッポロビール會社の女工に話をなす爲に行く此の處の女工は皆通勤にして一家の主婦らしきが多く從て其樣も整ふて見えたり、小妹は初め一寸自分等の立場よりしてビール會社に入りし事すら不思議なるに話しまてなす事のおかしき樣に感したるもの丶考へ見ればビール會社に入る事を得たる事の恩の大なるを感謝せずはあるべからずと氣づきたり、ヘウヰ女史の注意により禁酒禁煙につきて語らす神の道につき語られよとの事よつて小妹は收獲と題して語る此日は重立たる役人二三名女工取締の人など初めより共に聞かれたり、終りて役員は非常によろこびを述べられ此等の大切なる事はとても共にある私共が申にては功なく全く諸姉等にお願して初めて功ある者なりと述べられたり、女工數三十餘人なりき

〇五月中關西に旅行の際堺のメリヤス工場の女工六十餘名及彦根の机工場の男工廿名餘に對して矯風につきて語る、

御報告は右の如くで私共は心より感謝して居る所で御座ひます、さて最後に添へられた工場トライトのことは私も先年來切に其必要を感じつゝ實行出來ませんでしたが、今回はいよ〳〵着手して出來得るならば月々出版したいものと思つて居ます、何卒此爲にお祈り下さる樣切に願上ます

以上本課報告の大要であります、

○軍人課報告

課長　清水富喜子

◎大阪支部軍人課報告

大阪市南區石ヶ辻町
課長　藤本たま子

課長兩名の内一名は神戸轉任せり
スツラウト女史の御來阪の節卅七聯隊内に於て數日の軍人を集め盛大なる集會を開く時々印刷物を與へたり

◎旭川支部軍人課報告

上川郡旭川町近文一線一號軍人倶樂部
課長　村岸たき

軍人家族訪問凡九十八度「集會毎週」壹度軍人の都合により貳度一箇年間凡八十四回送せしは聖書ときのこゑ凡百兵營訪問貳拾回
支出金高　四月壹圓貳拾錢　聖書ときのこゑ
右はヒヤソン夫人の寄附なり、

◎甲府軍人課報告

甲府市百石町
課長　山本よね子

病兵訪問し冊子、花、及トラクト、宗敎書類三十冊等を送る
支出金高七圓七十五錢（是等は皆青年婦人大擧して病院の娛樂會に行きて慰問することなり）

◎相州軍人課報告

時々病院を訪問し小冊子等を病兵に與へて慰問す病兵の頗る喜ぶ處なり

課長　鎌倉大町名越　清水ふき
德島久子代

○軍人課の働きに關する報告

少年部長　守屋東

明治四十三年五月上旬關西地方遊説の砌吳婦人矯風會を問ひて十時姉に面語して同姉の苦心經營になる吳海軍々人ホームの家族軍人諸氏に語るの機會を得たり時あだかも招魂祭土曜、日曜日と續きて水兵諸氏の上陸多き砌なりしかば多くの水兵諸氏に語るの事を得たり
家族軍人諸氏は實に兵士かゝみとも謂つべき行動を採らるゝ兄弟等のみなりしかども小妹は矯風主義につきて語り軍人生活に於ては禁酒禁煙の主義は嚴守すべき事項なりと述べたり
其後十時姉よりの書信に家族軍人以外の兵士二名、斷然禁煙されしとの報告に接し感謝したる次第なりき
十時姉の熱實なる働きの下にある同ホームに數日を過して此事業の最も必要なる事を實見し同姉の如き人のある事を感謝せり
誠に國家の爲に一身を捧げ吾等同胞に、かわりて盡さるゝ兄弟の爲に、吾等會員は何事か行て報ひざる可らざる事と信ず、

◎本部課長直接の働き

本部軍人課長　清水富喜子

一軍人に書狀せしこと　廿四回
一病兵を慰問せしこと　三回
一支部課へ送りし書狀　八通
一其他軍人家族を訪問し、キリスト敎の傳道をなし又物品等を與へたり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

軍人課の働きは國家の爲に最も必要にして重大なる問題なり

願くは各支部、殊に軍港又は軍隊所在地の支部には是非共此の軍人課を設けられ國家の干城たる軍人諸士の爲めに慰めを與へ或は傳道に或は又良好に誘導せらるゝ様に切に希望する處なり、小妹昨冬より病氣又は家用の爲に十分なる働を爲す不能深く謝する處なり然れども皆無神の御心なれば又神の御導きによりては今後諸姉と共に大に前進し此課の爲に盡力なしたしと期するものなり、

○軍人課報告

副部長　富永延子

一平時の今日に於て陸海軍人に對し目覺しき働きを爲す機會を得ること極めて稀れてあります故に別段報告すべき程の事柄を有ちませぬ唯兩三回廢兵院を慰問したり軍人家族を教會に招き慰安を與へたとはあります

○禁煙課報告

課長　根本とく

本課の事業として芝區内の諸工場へクーフレットを配布し殊に酒害煙害貳千部禁酒禁煙のすゝめ煙草の害五百部婦人新報十二部其他賣多の書類を分配し又三田製作所等に於て禁煙の爲め演說の盡力をもせり個人の働きとしては來客者の中喫煙者に對しては何人を問はず禁煙の必要を說き特に青年の人にして就職の世話を求め來る者に對しては禁煙の約束を爲すにあらざれば盡力せざる事とし來訪の學生及青年は何れも禁煙の大切なることを認むる至り何れも諸官省及諸會社に於て就職成功を見るに至れり

○禁煙課

在日本外國婦人矯風會　アムストロング

遊說地、富山、加賀能登の各地にして小學校女學校其他公會演說會等に於て禁煙の必要をのぶ

新聞に數回禁煙の必要につき寄稿せり其内トラクとして發行せしもの二種

各ステーションに禁煙課に關する册子の寄附を申込みたれど承諾を得ず

○禁煙につき報告

少年部長　守屋東

○呉海軍々人ホームを訪ひて家族軍人諸氏に禁酒禁煙の必要を說きたるに二名水兵はまた禁酒はすれども禁煙の必要を認めずして喫煙なし居りし者なりしが煙害の恐ろ可きを知り斷然禁煙すべき由語はしもの有りき、其理由に喫煙なし居る者は勞苦に堪へがたき事を實驗せりといふにありき、軍隊に於て最も烈しく働かるゝ兵士諸氏の内に此實驗を聞きしことをよろこび益々煙害の恐ろ可き事を傳ふる必要を認めたり。

○水戸市に旅行せし際人力車夫を集めて禁酒禁煙につき語りし際に車夫等は煙害の恐るべき事を認め居りて既に用ゐず、反て酒は有用なるもの

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

として用ゐつゝありといふに遇ひたり、一層深く兩者の害を語りしに非常に恐れ驚きたる樣なりき、

○ミス、テビス鐵道課の乞によりて同處の英語學校に於て煙害につきて語らる、其時間は大凡二時半餘順々として恐る可き煙害を語られ米國に於ける鐵道王ハリマン氏が鐵道作業に從事する事に煙草を用ゐる人を使用する事の最も恐る可き事なりといふより同じ事業に關はれる人々に熱心を以て語られし結果使用しつゝある彼等青年は非常に驚き何卒吾等は先生のお話しにて共有害なる事を知りたり以後只習慣に捕はれて脫し得ざる吾等に時々注意と敎へとを與へられて禁煙者となさしめ給へと

以上は少さき例の如しと云へども全く今日まで煙害の如何程まで恐る可かといふ事につき圖解或は說明する事なく只々害なり〳〵といふのみなりし爲に此課の働につきて興味を有せざりしなれども一度圖解を用ひ充分なる說明を附する時は、吾等が願ふ處の鐵道列車の上に最も至難と思はるゝ禁煙車の新設等は豫想外着々と步を進むるに至る可と信ず、經驗したる實例の一二を報告して諸姉妹の此課に一層の興味を有されんことを願ふ、

○救濟課報告

課長　島田信

自明治四十二年七月
至同　四十三年六月　慈愛館會計報告

收入の部　日本婦人矯風會の部

一金壹千〇拾八圓七拾九錢五厘

內

金六百八拾七圓六拾六錢五厘　前年度越高

金參百參拾壹圓拾參錢　四十二年七月より四十三年六月まで收入

內譯

金貳拾圓　小林富次郎氏寄附

金貳百六拾壹圓六拾五錢　四十三年四月大隈伯邸內園遊會純益贊助金及寄附金

金拾八圓貳拾錢　銀行利子

金參拾壹圓貳拾八錢

支出の部

一金參百參拾壹圓參拾參錢

內譯

金參百拾五圓八拾九錢　四十二年七月より四十三年六月まで慈愛館經費として河原氏渡し

金參圓八拾錢　津田君子寫眞婦人新報掲載千四百部代本部書記渡し

金五圓　久保田甲子三氏へ香典

金四圓拾五錢　少年禁酒軍へ寄附

金貳圓五拾錢　大隈伯邸內園遊會の節謝儀として原胤昭氏へ呈す

差引金六百八十七圓四十六錢五厘　翌年度へ

西洋婦人矯風會の部

總收入金九百十三圓三十三錢

內譯

金拾參圓廿九錢　前年度繰越

金七拾貳圓拾錢　宿泊料

金八拾貳圓九拾錢　直接寄附

金參百拾九圓八拾八錢　日本婦人矯風會より
金四百貳拾九圓拾七錢　在日本外國婦人矯風會

支出

金九百十三圓三十三錢

內譯

一金參拾五圓五拾七錢　修繕費
一金四拾七圓九拾錢　諸道具
一金三百六拾貳圓九拾五錢　食費
一金四拾六圓五拾六錢　薪炭料
一金百七拾六圓　取締給料
一金六拾參圓拾錢五厘　毛原類
一金五拾貳圓九拾七錢　疾病費

慈愛館員動靜

一、一年間收容人員數　二十九名
二、婚姻せし人員數　二名
三、死亡者　一名
四、不成蹟の者　三名
五、奉公中の者　三名
六、學校に勉學中のもの　三名
七、現在館に收容中のもの　七名

○救濟課報告

一課長姓名住所　大阪市北區中之島六丁目　婦人ホーム內　林依子

一壹ヶ年に賴り來し者　三百七十四名

內譯

一奉公に出せし者　二百三十名
一現在勤め居る者　百十五名
一旅費を與へ歸國させし者　五名
一緣付きし者　三名
一手數かゝり歸りし者　二十一名

一壹ヶ年收入金高　千百三十七圓〇一錢
一壹ヶ年支出金高　千四百八十六圓八十一錢五厘
不足金三百五十三圓八十錢一厘會より補ふ

三月七日

一備考　內務省より金三百圓奬勵金として下附せらる

○神戶救濟課報告

下山手四丁目五　寺島信惠

大阪大火の際むしろ包五個、手拭二十反
新川貧民並に養老院のためシャツ、廿二、足袋五拾二
袴二古着六拾六枚蒲團五枚、綿拾貫目
收入金三拾七圓
尙關西婦人大祈禱會の節靑森大火見舞金を募集せしに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

約三拾有二圓を得たれば之を同地美以教會牧師の手を經て罹災民へ贈る

○議事法研究課の報告

ロバート氏の議事法拔萃の購讀を促し、之に從て、すべての會議を執行する事を奬勵す、結果として該書冊十一部の賣行を見、多くの支部に於ても、議事法研究課を置くの必要を認むるに至れり、玆に於て議事法の順序を書きガントレット夫人に飜譯の勞を請ひしが果して幾つの會に於てこれを使用せしか今日の報告に詳にする能はず

今日特に支部長諸氏に御願ひ申度きは、何れの會合を問はず、其會の性質が會議の性質を有する限りは、之を議事法によりて、成可く事務的に執行する事の重要なる事は決して輕々に附し去る可からざる事を認められむ事也、例へば、會議中、自己の意見を發表せむとせば先づ起立の上議長を呼び、議長の許可を得て後簡短に要點を話すべし、然る後動議出て賛成出て、初めて討議にうつり、必要と認むる點はすべて討議し終りたる後、更に問題を會集に謀り擧手によりて賛否を決し、書記はこゝにはじめて決議記錄をなすもの也、

諸會員の熱誠なる助力によりて、すべての會を常に、議事的に行ひ得る樣願ふもの也、見上ぐる所、日本に於ても多數の婦人は此等の事に傾注せらるゝも、我等は等しく何不注意に陷る常習ある者なり、されば特に、今日、各會に促したきは、此際、會に議事法研究課を置き、課長專ら其責任に當る樣せられ度きものなり、

明治四十三年七月十三日

ストラウト、フロラ、

○東京愛鄰社報告

白井壽め

本社は協議の結果婦人矯風會の事業として經營することゝなれり、其詳細なる事情は主任白井及び矯風會委員矢島、井深、小崎三夫人より贊助員、社友及び同情者に致したる書狀に詳なれば左に之を登載す

新しき社則及び委員其他のことに關しては目下協議中に付次回の報告に讓る、而して婦人矯風會事業としての實行は七月よりとす

謹啓　東京愛隣社創立以來茲に約八ケ年、其間工女下婢の救濟及び教育、職業及び施療等の紹介、日曜學校及び訪問其他諸種の事業をなし、幸少き境遇にある彼等の爲にまた其父兄の爲に多少の働きをなし來りしは、偏に同情厚き各位の御援助の然らしむる所にして、誠に感謝に堪えざる次第に御座候、扨て昨今の事情は更に他の方面に力を致すべく新しき事業を企てざるべからざる必要有之候へども、本社財政は依然として饒ならず、經營維持亦た舊日の如くなる能はざれば、之が爲に日夜苦心しつゝある折柄、日本婦人矯風會本部より本社の事業は同會目的の一に合致するを以て、其發展に對し力を添ふべし、されど唯だ補助するのみにては會の事情上充分の目的を達する能はざるを以て、此際之を同會の事業として經營してはとの交渉に接申候、熟々考ふるに本社の目的は工女下婢及び細民等に幸福を與へ、向上の精神を養ひ、而して刻下社會の一問題たる工女の現在及び將來の爲に、實際上の解決に貢するにあれば、若し此目的をよりよく達し得る方法あり、又た本社の事業を發展し得る道ありとすれば、此方法に依るを必要と存じ候、是等の點よりして恰も私一個の事業の如き觀ありし、本社事業を舉げて同會に托するの可なるを信じ候へば、直接本社事業に關係せる社友及び教師等に相談致し候處、皆異議無之候に付、左の條件の下に移し會の事業と致し度候

一、婦人矯風會は特別會計を設け賛助員寄附金の募集等をなして事業の經營に當ると

二、東京愛隣社は主任者を白井俊一として事業の一切を托すると

三、事業報告は「婦人新報」を以てすると

右の如くにして本社の事業は是迄と毫も異るとなく又た今後の發展も安じてなし得る次第に御座候間、貴下に於ても御承諾なし下され此上とも一層の御力添への程奉願上候、參上御話申上べきの處時日徒らに遷延するおそれも有之候間略儀ながら書中を以て貴意を得候敬具

芝區三田四國町二番地一號

東京愛隣社

七月十五日

主任　白井俊一

拜啓　多年工女下婢の教育救濟を初め諸種の有益なる事業をなし來りし東京愛隣社の現狀及び今後の經營發展に就て、別紙白井主任の書狀の如く協議致候間、何卒御同意の上一層の御助力をなし下され度、愈斯く決定の上は私共委員は此爲に充分に力を致し東京愛隣社設立の目的を果したき決心に候

右貴意を得たく此の如くに御座候　以上

日本婦人矯風會

七月十五日

矢島楫子

井深花子

小崎千代子

再伸　前述の次第に付御同意の上一層御同情御賛助の程願上候、はかき一葉相添候間此際更めて御賛助額御仰下され折返し御返事下され度候金額は今後

一口　金拾錢

と致し候

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

猶ほまた會計は小崎千代子之に當り候も便宜上集收等は白井俊一氏及び同夫人すめ子に托し申候

事業及會計等の諸報告は婦人新報紙上に於て可致候

○東京愛隣社概覽

▲事業　夜學部　救濟部　集會部　紹介部　出版部　日曜學校（以上現在）實業部（未開始）

（一）夜學部　△學年　五年（豫科三年、本科二年）裁縫科二年　補習科一年

△學科　普通小學校に準じ必須の學科を教授す、但し實用を主とす、補習科は本科裁縫科卒業及同程度の者を入らしむ、學科は一層實際に適切なるもの

△同部附屬諸團體　校友會（卒業生の組織）かたばみ會（現在生徒有志の組織）娛樂會（折々開會）

（二）救濟部　△工女下婢の救濟及保護△勞働者家族の救助△苦學生の世話及紹介

（三）集會部　△勞働者父母會△下婢會

（四）紹介部　職業、施療、救助等の紹介

（五）出版部　工女下婢等の爲に小册子發行、校友會機關「愛の睦」及び本社の報告書

（六）日曜學校　講議、講話、訪問△女子共勵會

▲委員　矢島楫子　井深花子　小崎千代子

▲維持　月極贊助會（一口拾錢）及有志者の寄附金品

▲位置　東京市芝區三田四國町二番地一號

七月中事業概要

▲夜學部　△授業日數二十一日　△出席生徒數如左

補習科＝三名　本科＝六名　豫科＝十名　裁縫科＝十一名　合計卅名

△本月出席の教師　青柳茂、藤井善治、後藤春樹（以上每週一回）白井俊一、白井壽女子、仁藤那義子（以上每夜）

△十四日本業生の紀念撮影をなしたり

△親睦會　卅日午後七時半開會、青柳、後藤、白井三教師の勤めの後餘興、茶菓の饗應あり九時半散會

▲日曜學校　△開校日數五回　△出席生徒數左の如し

甲組＝十三名　乙組＝十名　合計廿三名

△出席教師　白井俊一（甲組）　後藤春樹（乙組）

△女子共勵會　七月三日甲組生徒及有志者を以て女子共勵會を組織せり

▲紹介部　施療二名、下婢一名、職業一名

▲寄附金品　金貳圓相原熊太郎氏、雜誌貳部藤井善治氏、雜誌三十部横倉秀子氏、書籍拾册白井俊一氏（雜誌、書籍は夜學部生徒の組織せるかたばみ會にて保管し閱覽に供す）

▲夏期休業　八月は夏期休業とす、但し一週一二回開校し、復習をなし又た落題を課す、日曜學校は休業せず、八月中のみ土曜日に開校

▲贊助員　上述により贊助員も新なるべからざるを以て、是迄の贊助員に對し書狀を呈して同答を求めしに、既に贊に贊助員たることを承諾せられたるは左の如し、但し八月十日迄

三日	井深花子氏	五日	淺野春子氏
二日	村井孝子氏	三日	中里鋼之助氏
二日	光村久子氏	二日	仁藤里子氏
一日	森　繁吉氏	三日	松本清子氏
三日	小崎千代子氏	一日	伊藤元子氏
一日	宮崎志願子氏	一日	飯田正次氏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

外に兩永春子氏は臨時寄附を約束せらる
新に賛助員たるを承諾せられしは左の如し

一口	鈴木もと子氏	一口	山東泰子氏
一口	岡戸菊子氏	二口	竹中紫子氏
一口	守屋東子氏	二口	横倉秀子氏
五口	矢島楫子氏	二口	大關和子氏
一口	栗屋榮子氏	一口	村上豊子氏
一口	加藤きみ子氏	一口	大澤常子氏
一口	鎌倉遠江子氏	二口	鵜飼妙子氏
額未定	ミス、デビス	額未定	ミス、ルイス
額未定	ミス、エリス		

○水害慰問概況並に報告

△東京市內婦人矯風會員の大活動

轟く雷の物凄く、篠つく雨の頻りにて、ノアの洪水もかくやなど思ひめぐらすも心細き事であつた、河川近くはた地低き處に住む人々のいかに心安からぬ事であらんなど思ふ折から、市內の大洪水てう聲は四方より聞えた、溺るゝ人助を呼ぶ老幼婦女子、飢渴に泣く細民の樣の慘狀目もあてられずと、世の人の憂に先つて憂ふべき、私共矯風會員は、いかで拱手坐視して居る事が出來よう、折も折暑中休暇の事とて、本部役員の多くは旅行にまた病の床にありて如何ともすべなきを芝支部なる佐伯根本兩夫人は、今回の洪水は濟に東京市內のみならず、一府十餘縣に渡れる、安政以來の大洪水各所の慘は如何なる形容所もよく說明し得ぬないかで一刻も待ち得べきとて、各婦人團体に卒先して慰問品の募集を始められた、偶々麹町支部員なる中澤夫人も、救濟の道を講ぜんとするに會して、玆に市內各支部並に本部と相合して救濟會を開始する事に致した、時は八月十四日であつた、然れど最初始まれるは佐伯氏宅に於ける數十箇の慰問袋と、一俵の白米と金子僅かに數圓のみであつた、靑年會館に事務所を設けて先づ東京市に於ける罹災民の救助に着手した、たき出しと集まれる慰問袋は、會員ならぬ知名の夫人などの盡力によつて、十五日朝に細民に分配する事を得た、滔々たる濁流は凄ましき勢を以て、いづこまで襲い行くや、小さき舟は恰も木の葉の如く漂ひ、到底婦人の身の水游に心得なき者の行くべき所にあらず、然れど天は常に至誠あるものに味方し給ふ、赤羽工兵隊にては特に我等の擧に同情して、武裝せる鐵船にて誰人も未だ行かざる二里餘の所までも運びて、我等の目的たる救助を得ぬ人々に慰問品を與ふる事を得たのは全く該工兵隊諸君の大なる助力であつた、一度我が矯風會の美擧の世に知らるゝや、金品を寄送せらるる人々日々百を以て數ふるに至つた、會員は日日會館に朝とくより夜更くるまで集ひて、慰問品の分配方整理、寄送品の受取等に忙殺せられて居つた、暑さも何にも唯だ救濟の爲めには、何ものをも擲げて、喜んで一致して働かるゝ人々の樣は實に美はしかつた、市內の救濟終はりてよりは、各縣下に慰問品を發送する事に盡し之れまた、會員並に同情者諸姉の大なる盡力によつて多大なる數を送り、悲慘の極に泣く人々に幾分の慰安を與ふる事が出來た、そも此の事業を初めて思ひ立たれしは十一日夜と聞く、愈々初めしは十四日にして廿九日まで十餘カ日間は會員一同寢食を忘れて同

難の危急を救はれた、今度の事業に最も盡力せられしは根本、佐伯、中澤、井深、島田、栗原、富永、山東、原口の諸婦また會員に非らずして、特に多大の助力を與へられしは桑原原田の兩夫人であつた、大澤豊子姉は時事新報記者にて、我等の活動の様を紙上に紹介して、世の慈善家を醒覺せられしは、唯だ感謝の外なき事である、大隈伯爵夫人また率先多大の金圓を送りて我等を勵まされしは、之れまた一同の喜ぶ所である、顧つて今回の如き、案外なる好結果を得しは全く人力のよくすべき所ではない、神の御力の我等の上にありたればこそ、充分なる活動をもいたす事が出來た理である、茲に我等が大なる教訓を受けたるを感謝する、實に與ふるは受より幸なり、持てるものは與へられ尚餘りあるを知る、尚我等婦風會員は一層團體の勢力並に婦風會の主義が他の會合と異にして、會頭役員の命を待たずしてよき事なれば、誰人も之を始め得るの便あるを感謝して止まぬのである、今第一同金品の發送數等を左に記るして寄送せられし慈善家に謝し奉る

○配付せし慰問品

慰問袋　約五千
古着大小　千三百九點
晒木綿　二十三反
風呂敷包（夜具等）　四十五個
其他靴下駄諸道具若干

○慰問品を配付せし箇所

東京市内十二箇所、栃木縣數箇所
埼玉縣數箇所、千葉縣一箇所、群馬縣數箇所、仙臺等なり

總收入金二百十五圓五十一錢
總支出金百五十八圓八十五錢
晒木綿パン日用品等慰問袋に入れし品を購求並に物品運搬費
殘金五十七圓六十六錢
（殘額は第二回に廻す事に致す）
金品を寄送附せられし人員數約五百名なり

內外通信

○大　阪

○母之會

七月二日土曜午後二時より川口町プール女學校講堂に於て開かる司會者

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は林會頭にして本校生徒の賛美歌合唱あり司會者の開會辭に次ぎ當市有力者廣岡淺子夫人を聘して講話を願ふ夫人は本年六十二歳と云はれしも身に純白の洋裝勇ましく體格强健志氣に滿ち溢れたる顏色美はしくさながら壯者を凌ぐの慨あらしめき

「人の振みて我振り直せ」といふ題にて清韓婦人の例を引き我國婦人一般の現社會に於ける狀態をみて未だ男子の新教育新智識の夫に伴はず常に家庭に在り庖厨裁縫の事のみに終日を送り徒らに舊式習慣を守り却て從順なるものゝ如く考へ我儕男子の玩弄物となり居らざるや甚慨歎すべきの至りなり吾等婦人たるものかゝる境遇に滿足すべき者に非ず自から勵み自から勉めて其夫たる男子の好伴侶たらざる可からず又母として子女教育の大任を受けたるものなれば今より老若を撰ばず先づ自分より進み奮勵して新教育新智識の趣味を得て後進子弟の進步發達を妨げぬやう且つ婦人自からの位置を高くする事目下の必要急務なり今にして之を改めず積年の習慣に捨置くは遂に憐むべき清韓婦人の如く運動不自由の身となり殆んど亡國の過を招くに至る

次に當校々長トリストラム女史講演を郡稻葉姉代讀せらる專ら母親たるものゝ心得として肝銘すべきもの次に名川牧師母親のこゝろといふ題にて特に我國子女に對する慈母の愛情は遙に歐洲各國の上にある美事を稱へ且つ我等主を倍するもの天の父を敬慕すると共に慈母にもまさるキリストを母とあがめ奉りて萬年之に模倣せん事を熱心に說かる

終に五十三番を唱ひ牧師の祈禱を以て閉會す別室に於て茶菓の饗應あり會し會員互に懇談樂しき時を過して五時散會す來會者百餘名

廣岡夫人は今猶常に讀書をつとめ新らしき智識を養成して多くの趣味を以て社會に交り後進の先導者となり目下宗教に就ても一週二回宮川牧師に就きキリスト教を研究されつゝありといふ

○佐賀

當佐賀婦人矯風會は七月十二日（火曜日）午後三時より市內花房小路ルーテル教會附屬幼稚園に於て此數日間東京に開かるゝ婦人矯風會第十八回大會の上に優渥なる御惠の下らん事を祈願すべく祈禱會を開く會員中病氣其他事故の爲めに出席者少數なりしは遺憾なりしも皆心を一にして靜かなる內に熱誠をこめて讃美歌唱和の後中島姉開會の所並に大會の上に祝福を與えられん事を祈り一同默禱の後主の祈を共にし會を閉ぢ和佐會長の發議にて本部に祝電を發する事を決して散會せり尙本は縣下小城に於て矯風事業擴張の目的の下に幻燈會を催し宣教師リペルト氏和佐傳道御教會員古瀬氏等同地に働かれたり

○前橋

七月例會を兼ね新入會員の歡迎會を二日午後一時半より會堂に於て開く會頭の司會にて讃美聖書朗讀（馬太十三章四四以下）の聖句に基き奬勵あり野口夫人の祈禱に次いで支部會計聯合會會計並花の課報告あり又新入會員の爲め聯合會の記錄朗讀を爲し議事を見合せ直ちに歡迎會に移る副會頭の司會にて讃美聖書朗讀祈禱の後ベッドレー夫人は歡迎の辭を述べられ茶菓をすゝめて各自限りなき喜を以て三時半會を閉づ出席十二名なりき此回入會せられし方々は牧野夫人を始め二三夫人と幼稚園及女學校に教鞭を取らせらるゝいづれも春秋に富まるゝ姉妹方にして我等は此多端なる並に際し最も有力なる會員を與へられし神の御惠感謝するに餘あり、○新入會員人名　黑田、野口精、藤門千代、高橋祐、竹內八千代、福崎政、以上七月十二日東京に於ける矯風大會出席の爲めベッドケ會頭代員として野口夫人出京せられたり大會に於ては諸姉の歡待至らざるなく特に前橋の爲めに貴重なる時間をも割與せられたれば青年文學會席上

にて共進會に於ける我上毛矯風聯合會に就て訴ふる所あらしめられしは一同の深く謝する處なり願くは全能の神が我等を導き敬愛する諸姉の同情と一同の奮勵に因り成効ある働きを爲さしめ給へかし

役員會同月一ト日午後二時より岩卿村ベッドレー會頭宅に開く　夫人の司會にて病中の二姉を除く外役員皆出席す當日夫人は行李匆々の際とて共進會の相談も熟議する能はざりしも委員を更に各部に分ち即ち茶係薪炭係器具係裝飾並廣告係等に分擔し詳細は次回迄延ばす事とし夫人の出産話として大隈伯邸に於ける園遊會の模樣並に伯爵夫人の新に入會せられし光榮ある御物談に一同はいひしらぬ感慨に滿ちつ四時幾分を過ぎて夫人は會の事何與れ心添えられつゝ輕井澤の旅程にのぼられぬ

報告會十八日午後二時會堂に於て野口夫人より大會に於ける詳細なる報告並に御感想を承り大に裨益する處ありたり

同月二十日本部より聯合會の働きに就き懇篤なる書狀に添えて金拾圓也寄贈せらる

○堺

四十三年六月七日午後二時よりメッヂスト教會堂に於て年會開催角田幾子姉司會讃美祈禱聖書（非三〇十二―二十）朗讀讃美尋てテモテ教會牧師尾形虎三氏非、三章十三節に基き尤も懇切なる勸話ありたり讃美祈禱以て一段落をつけこれより記錄書記の報告、通信書記報告、會計報告次に市役所に出頭せられし代表者の報告あり了て吉井あや子姉四十二年度役員を代表して會員一同に對する挨拶あり次に萬代夫人會員を代表して役員に對する挨拶ありたり次は役員の改撰當撰者は左の如し

會　長　黑田良子　　副會長　萬代夫人
記錄書記　尼形コマ子　　通信書記　赤澤よし子
會　計　角田幾子

是に於て神に感謝を獻げ尙新年度に於ける本會の働の上に會員一同並に新役員の上に豐なる主の御助のあらんとを祈りて閉會す茶菓の饗應ありたり出席者二十餘名

第二次會の役員會に於て左の通り課長撰定せらる

傳道課長　吉井あや子　　風俗課長　永田とき子
母の課長　三宅ゆき子　　少年課長　鈴木はる子
交際課長　大枝かれ子　　慰問課長　野間夫人

○弘前

七月十六日午後　時より元寺町教會堂樓上に於て矯風會をひらく會頭高谷とく子姉の司會にて讃美聖書朗讀禁酒禁煙課長乙部とく子姉の祈禱書記高杉つるの前回記錄朗讀の後牧師山鹿元次郎氏の（宗教と家庭）てふ題にて有益なる一場の演説あり來會者一同大に益せらる夫より賠美歌を以て閉會せしは午後四時半頃なりき閉會後會頭高谷とく子姉永らく病氣にて引籠中の所今回全快當日は久々にて出席せられ來會者一同に對し懇切なる挨拶をなされし後一同に茶菓を饗せられたり夫より各自おもひおもひの家庭の雜談に移り愉快に散會せしは午後九時過なりき來會者十七名

○宇都宮

例により矯風會例會をフライ師方に開く定刻に至り會長の司會の許に讃美祈禱を以て開會聖書朗讀に次ぎて昨記婦人新報六月號に記載せられたる家庭と兒童てふ一節を朗讀す　之矯風會々員一同の盡力により去月十七、八、九の三日間當地宮樹座に於て岡山孤兒院慈善演藝會開催す同會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

々計決算報告會計不在の書記これに代ふ大略右の通り總收入金四百八十一圓四十錢五厘也。支出總高百三十九圓十二錢純益金三百四十二圓二十九錢五厘本部に送る

猶當會員有志者演藝會當夜慈善菓子賣捌純益金五十一圓及び會員一同よりの寄附金十五圓五十錢合計六十五圓五十錢同會に寄附す

書記の發議にて當會員一同協力して當市の慈善家に訴へ日々二厘五毛(一箇年一圓)づゝ鎌山孤兒院に寄附せられんとする會員百名を募集し年々金百圓を同院に寄附する樣實行せん事を決定し主の祈禱とて閉會五時

當日一名新入會員に合し集會の諸師九名、新入會員渡邊みど姉

○靜岡

種々の事情ありて本月の例會は二十五日に開く事となりぬ六月五月雨の蕭條を感ずるの時英和女學校講堂に於て午後一時半より開會しぬ當日は波多野牧師の婦人の務めと云ふ題の下に今や婦人の務に二ツの傾向ありとて英米と獨の各主張する點を述べ我が日本の婦人は此の二箇の主張を調和して任務を盡さゞる可らず即ち家庭の人ともなり獨身的精神も必要であると

矯風は精神界の革命を意味すッマリ突進的態度覺悟を要す飲酒喫煙家に同情を以て誡しむる可しとて一時間餘奨勵を與へられたり終りて會員打解けて語り合ひ閉會三時迄二十二名出席者ありたり

七月は暑氣加はり會員中にも旅行者等ありし爲め二十三日午前十時より山家會長の宅にて例會を開く此の日幸ひにも福井縣大野中學校教諭三宅光革氏東上の途を下車され態々本會の爲め一場の勸話を快諾されし爲め意外の力を受けたり先生は熱心なる基督者忠實なる主の僕として榮光の爲め盡されし方とて同日はヨハラハ傳四〇の主とサマリア一賤婦との對話に付諄々熱烈涙に咽ばれ世の矯風事業に盡すものゝ心得を說かれ多大の利益に警醒を與へられたり出席者十名三宅牧師山家城二姉の祈禱を以て會を閉じたり

婦人新報代領書

(六、七、八月入金)

一金十三圓四十錢(四十三年六月迄)　橫濱　支部
一金一圓四十錢(四十三年度)　山口任之助君
一金一圓(同)　大塚せん子
一金一圓四十錢(四十二年度)　宇都宮支部
一金三圓五十錢(四十二年度)　安中　支部
一金一圓四十錢(四十三年度)　石田　祐子
一金二圓十錢(四十一—四十三)　柳瀨しか子
一金二圓十錢(四十一—四十二)　コザト氏
一金二圓十錢(四十一—四十二)　當麻　まへ
一金二圓四十錢(四十一—四十三五月迄)　ルーサー氏
一金一圓五錢(四十一—四十三年)　ヘレフホード氏
一金七圓六十七錢(五十三年六月分)　麹町　支部
一金二圓十錢(四十一—四十二)　湯淺とき子
一金七十錢(四十三年度)　波江野ちか子
一金二圓(四十三年度)　大石とく子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一金一圓四十錢（同）	坂　しま子
一金七十錢（四十三年迄）	高柳　榮子
一金二圓十錢（四十二年迄）	半田ませ子
一金一圓四十錢（四十三年迄）	金子なほ子
一金五圓七十八錢（四十三年半期）	前橋　支部
一金五圓（四十四年六月迄）	ワリイック氏
一金一圓（四十三年度）	小磯とみ子
一金九圓三十五錢（四十三年前半期）	神戸　支部
一金十四圓四十錢（四十三年六月分）	大坂　支部
一金七圓（二十二年度すみ）	東京聯合
一金二圓十錢（四十二年度まで）	白石しめ子
一金二圓八十錢（四十三年度迄）	末永　砂子
一金一圓（四十一年六月迄）	二宮　哲子
一金一圓（四十三年度）	岡田保茂子
一金一圓四十錢（四十三年六月迄）	伊藤　雪子
一金一圓四十錢（四十三年度迄）	藤原後閑子
一金一圓四十錢（四十二年度迄）	三木すゑ子
一金七十錢（四十三年度）	中島とめ子
一金二圓十錢（四十二年度迄）	江見　順子
一金二圓（四十三年度）	小室潜一君

◉社　告

前橋支部と共進會愈々去る十八日より前橋市に於ける共進會は開催せられ候就ては同市に於ける婦人矯風會の活動も開始せられ候事に候神の恵を顯し我等の主義を世に紹介するの好時氣に候間支部に活動に同情せられ應分の寄附金を與へられん事を奉希候也

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本赤十字社副社長　小澤男爵閣下題辭

京都看護婦學校長ドクトル　佐伯理一郎先生序

哲學博士　東郷昌武先生序

日本女子大學教授マスターオヴアーツ　村田勤先生著

クリミヤの天使　ナイチンゲール

▲洋裝四六判肖像數葉入▲定價五十錢郵稅八錢

嬢は十九世紀の英國が產み出して最も美しい又最も神々しい女性である、嬢は柔和謙遜な女丈夫である己れを棄てゝ人を救ふた愛の化身である、無數の病人等に天使と崇められた聖者である、婦人の理想として模範とするには最も適した人である、嬢の如きは啻に英國人のみの誇でなくて實は天下女性の誇りである、否人類の名譽である、此の書は嬢の爲人と事業を少年少女にも分り易いやうに平明な口語體で書いてある讀む價値はあるかないか讀んだ御方に聞いて下さい

畔上賢造先生譯

人間上進論

▲定價五十錢　▲郵稅八錢

本書はドラモンド博士の名著にして十九世紀の學界の最大の人物なり進化論の基礎に立ちて他愛主義を實唱し曰く宇宙は愛なり犧牲なりと科學より出發したる宇宙觀なり倫理學なり社會觀なり又宗教なり科學と宗教と完全に調味せらる全篇言文一致

文學士　吹田廬風先生譯

悲劇　マリア・マグダレナ

▲定價六十錢　▲郵稅八錢

▲原著はイブセンの深酷とハウプトマンの詩趣とを兼備せる稀代の戲曲家ヘッブルの傑作なり譯筆謹嚴卷頭に原作者の評傳及び獨逸世話物の二文を掲ぐ

發兌　東京市京橋區尾張町二丁目　(振替東京五五參番)　警醒社書店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治四十二年三月十二日第三種郵便物認可

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地　株式會社秀英舍印行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA